

令和4(2022)年度 児童館事業年間活動報告書

＜様式10-1＞
紫竹児童館

活動名	実施回数	参加人数								内容	成果と課題		
		乳幼児	小1～3年		小4～6年		中高生	大人	ボランティア				
			自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ			中高生			大学生	大人
(2) 遊びの教室活動													
トランポリンDAY	0											大型トランポリンでダイナミックなあそびを楽しむ。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、実施できなかった。
卓球DAY	0											卓球のルールを知り、対戦を楽しむ。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、実施できなかった。
おりがみDAY	0											地域の方の協力により行う。テーマに沿って折り紙を楽しむ。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、実施できなかった。来年度はできる方法を考えていきたい。
しょうぎDAY	0											地域の方の協力により行う。将棋を集中して楽しむ機会にする。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、実施できなかった。将棋の先生も来れなくなり、どう継続していくか検討していきたい。
(3) 行事活動													
お話を語る会	5		2	97		8					107	京都おはなしを語る会の方による「語り」を実施する。	感染症対策をしながら実施。子どもたちは毎回楽しんでいる様子だった。
交通安全教室	2				73		3				4	80 北警察署の方に来ていただき、交通安全教室を行う。	1年生対象と2年生以上対象に分けて行った。子どもたちに良い啓発になった。
防犯教室	2		2	73		3	1					79 北警察署のスクールサポーターの方に来ていただき、防犯教室を行う。	1年生、2年生以上と分けて行う。防犯の意識が高まったようだった。
消防避難訓練	1				70		3					73 火事を想定して、子どもたちの避難経路、職員の役割などを確認する。	子どもたちは真剣に取り組んでいた。
工作DAY	5	2		6	9	1				1		19 プラバン工作を行う。	小学生だけでなく乳幼児親子も参加。楽しんで参加していた。
児童福祉週間の取組	6											児童福祉週間の取組として標語を考えてもらう。	自由参加としたが、何枚も熱心に書いてくれる子もいた。
伝統工芸を楽しもう！	1		9	15	3	1						28 「京の匠の技を知る！伝統工芸体験」事業で、青貝研ぎ出しコースターづくりをする。職人に教えてもらう。	参加者は、細かい作業を集中して作っていた。職人に仕上げてもらったコースターは参加者全員喜んでいました。
公園であそぼう！	1	9						8				17 紫野保育園との共催事業。緑町公園でラリーやふれあい遊び・読み聞かせを実施。	参加者も館外での行事参加を楽しまれる。蚊が多く対策が必要。
しちくじどうかんこどもまつり 子ども実行委員会	4			6	3							9 しちくじどうかんこどもまつりに向け3年生以上で実行委員を募集し、企画・運営。	初めはメンバーが集まらない会もあったが、それぞれの意見も出しながらすめられた。当日の運営もしっかりとこなした。
クリスマスきりえ	5	1	5	38		1		1				46 クリスマスにちなんだ絵柄で、クリスマスカードを作る。	好きな絵柄を切り、カード作りを楽しんでいた。今後も季節行事を入れていきたい。
クリスマス工作	6		4	36								40 折紙を使い、クリスマスリースを作る。	小学生の子どもたちが参加した。今後も季節行事を入れていきたい。
さくらんぼさんによるお話とコーラス	1		3	17		1					18	39 さくらんぼさんによる「お話とコーラス」を実施する。	子どもたちは楽しんでいる様子だった。機会があればまたお願いしたい。
おみせやさんごっこ	0											子ども実行委員が準備し、当日はおやつをお客さんの子どもに販売する。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止。
おみせやさんごっこ 子ども実行委員会	0											子ども実行委員を立ち上げ、子どもがおみせやさんごっこの企画・運営をする。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止。
チャレンジデイ	0											様々なあそびの遊びの企画にチャレンジする。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止。
チャレンジデイ 子ども実行委員会	0											子ども実行委員会を立ち上げ、子どもがチャレンジデイの企画・運営をする。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止。
つくってあそぼう！ 子ども実行委員会	0											子ども実行委員を立ち上げ、乳幼児が楽しめる企画を考える。乳幼児親子との交流を図る。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止。
(4) クラブ活動													
フラダンスクラブ	16	80	92	43	20		1	105			20	361 地域の方に講師に来ていただき、フラダンスを教わる。幼児さんから大人まで参加し、フラダンスの楽しさを知る。	基本的な方から教えてもらい音楽に合わせて踊ることにより無理なく楽しむことができた。登録者も多く2部制で行う。発表の機会もあり、希望者が参加した。

基
本
子
ど
も
育
成
機

能	きりえクラブ	39		28	150	2	2					1			183	きりえを楽しむ。はさみから始め、カッターに進む。簡単なものから難しいものまで設定、上級が修了した人は自分の好きな作品にチャレンジする。	きりえが好きでコツコツ続けて参加している児童もいる。今年度から何でもファイルまでの必要作品数を減らす。参加者は楽しそうにきりえに取り組んでいた。		
	けん玉クラブ	51		42	450	3	24								519	けん玉の技やもしかめ・けん玉ダンスを習得し、けん玉の楽しさを味わう。クラブとしてけん玉の楽しさの普及にも努める。検定も実施。1・2月はチャレンジカードの取組も実施。	けん玉の楽しさに触れ、取り組んでいる姿があった。夏には「ビンゴカード」を使ってステップも楽しむ。発表の機会もあり、クラブ員の中から希望者が参加した。		
	(5) 地域間交流促進活動																		
	上賀茂神社作品展	1																北区の児童館・学童保育所が合同で作品展を行う。上賀茂神社内で行われ、児童館・学童保育所のPRにもつなげる。	1つの作品を力を合わせて作り上げることができた。他館所との交流とともに、外部に向けてのPRにもなった。
	北・上・中ブロック児童館学童保育所まつり	1		4	23											29	北・上・中京区の児童館・学童保育所が集まって行うおまつり。参加者やスタッフ間の交流、参加者の健全育成、子育てネットワークの促進を目的とする。今年度はオンラインにて実施。	オンラインならではの、他館の様子が見れたり画面越しに交流ができた。参加者はゲームなど楽しんでいた。	
合計	147	92	197	1100	35	46	1	116	0	0	42	1629							
推進活動																			
	合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
機能合計	147	92	197	1100	35	46	1	116	0	0	42	1629							

*注 基本活動は、指針に基づき(2)遊びの教室活動(3)行事活動(4)クラブ活動(5)地域間交流促進活動(6)障害のある児童の居場所づくりと活動への参加促進(7)思春期児童の活動支援に分類して記入すること。
 推進活動は、指針に基づき(9)地域を知る活動(10)移動児童館活動に分類して記入すること。
 指定活動は、指定児童館のみ別途報告すること。

活動名	実施回数	参加人数										内 容	成果と課題		
		乳幼児	小1～3年		小4～6年		中高生	大人	ボランティア		合計				
			自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ			中高生	大学生				大人	
(1) 乳幼児とその保護者を対象とする活動															
①乳幼児クラブ活動															
ぶくぶくクラブ	38	179								181		18	378	おおむね0歳の親子を対象とした乳児クラブ。第一子の0歳児とその保護者対象の日と、月2回第一子以外の親子も参加できる「拡大版」を設ける。自由あそびの後、交流を行う。子育ての不安や悩みや楽しみを共有し合う。手あそび・ふれあいあそび・自己紹介・様々なテーマに沿ったテーマトークや工作を行う。食育指導員の方に来ていただき、食育に関する相談を受けていただいた。	テーマトークや工作など好評であった。クラブの中で保護者同士の交流も深まったよう。
すくすくクラブ体験日	4	31								26			57	すくすくクラブの入会前の体験を行う。	入会前にクラブの雰囲気を知ってもらう機会となった。
てくてくクラブ体験日	4	16								11			27	てくてくクラブの入会前の体験を行う。	入会前にクラブの雰囲気を知ってもらう機会となった。
すくすくクラブ	31	225								163			388	1歳半以上の親子を対象とした半期登録制の幼児クラブ。季節行事や工作などの取組・グループ活動を通して、親子の絆を深める。また、子育ての仲間づくりを援助する。	今年度から半期の登録制クラブで行った。前期・後期どちらも登録された方であった。後期からの方も前期からの方とも交流されてよい関係が作られていた。
てくてくクラブ	34	347								294			641	前期は1歳～1歳半頃の親子を対象、後期は1歳～2歳頃を対象とした半期の登録制幼児クラブ。季節行事や工作などの取組を通して、親子の絆を深める。また、子育ての仲間づくりを援助する。	今年度半期の登録制クラブで行った。前期に登録されていた人は全員後期も参加される。後期は参加人数が増えたため2期制で行う。同じクラブだから前期の人と後期の人との交流が少なくなってしまう。
②乳幼児の広場活動 のびのびひろば															
	31	254								235			489	地域の遊び場として、気軽に参加できる場所を提供する。その中で保護者同士の関わりを通して子育ての仲間づくりを援助する。自由あそびの時間と職員が手あそび・ふれあいあそびの紹介や読み聞かせ等をする時間を設ける。	自由度が高いので参加しやすいようだった。継続して参加される方も多く、親子で楽しんでいる様子うかがえた。参加人数が多いときは、密を避けるために部屋に分けて手遊びなどを行った。
ぶくぶくクラブ 子育て講座『離乳食の進め方』	1	4								4			8	講師に来ていただき、テーマに沿ったお話をさせていただく。また終了後、相談タイムを設ける。	参加者からは参加してよかったという感想をいただいた。個別講師の先生に質問している様子もあった。
子育て講座『夏の過ごし方』	1	12								10			22		
子育て講座『子どもの心の発達について』	1	11								10			21		
子育て講座『年齢にあったおもちゃの選び方』	1	9								9			18		
和音さんの人形劇	3	19								17			36	人形劇サークル「和音」の方が、乳幼児向けに人形劇をする。事前申し込み制で定員制で行う。	参加者は楽しんでいた様子だった。季節を取り入れた演目で、参加者にプレゼントのある回もあった。
フードドライブ	6	1	2							21			24	家庭で余っている食品を回収し、NPO法人を通して必要とされている方々へ提供する活動	利用者だけでなく、地域の方からの寄付もあった。
子ども服おゆずり会	1	35								31			69	近隣保育所子どもはくみ家の「ここにこ北っ子ども服リユース」事業で回収された子ども服のおゆずり会を実施	たくさんの方が参加され、必要な方だけ持って帰られる。
③家族参加を促す活動															
つくってあそぼう！	0													乳幼児親子が工作を楽しみながら、小学生や民生児童委員さんと交流する。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止。
合 計	156	1143	2	0	0	0	0	1012	0	0	21	2178			
(3) 子育て家庭相談・援助活動	子どもの年齢	件数	受 理 及 び 相 談 経 路					件数	相 談 内 容	件数	つないだ機関等			件数	
	乳児 幼児 小1～3年(自由来館) 小1～3年(学童) 小4～6年(自由来館) 小4～6年(学童) 中学生 高校生	1 1 57	児童館にて直接受理 児童相談所 保健所 子ども支援センター 主任児童委員 その他 { }					59	健全育成問題 家庭養育問題 成長・発達問題 教育問題 非行・問題行動 その他 { }	1 56 2	児童相談所 保健所 子ども支援センター 幼稚園・保育園 小学校 中学校 総合支援学校 その他{ }	1 1 1			
	件数 計	59	-					59	-	59	-			3	
(4) 子育てグループを育成・支援する活動	グループ名	構成人数	活 動 内 容					育 成 ・ 支 援 内 容			成 果 と 課 題				
活動名	実施回数	活 動 内 容										成 果 と 課 題			

推進活動	(5)子育てと健全育成に関する啓発活動	京都市家庭ごみ有料指定袋 無料引換券の引き換え	随時	券を持参された方にごみ袋とともに、館のおたより等を配布、利用・事業の説明を行う。	丁寧に利用の説明をすることで、来館につながることも多い。今後も丁寧な対応を心がけたい。
		子育て講演会	5	アンケート等で利用者のニーズを聞き取り、講演会を行った。	子育てに関して学びあい、理解を深めることができた。また、個別相談により、悩みの解消にもつながった。
		利用者アンケート	1	11月に児童館利用者（自由来館児童、乳幼児親子、中高生、学童クラブ児童と保護者、地域の方）対象に市社協共通のアンケートを実施する。	72%の回収率だった。利用者からの声をしっかりと受け止め、今後活かしていきたい。

※注 基本活動は、指針に基づき(1)乳幼児とその保護者を対象とする活動[①乳幼児クラブ活動 ②乳幼児の広場活動]（2）家族参加を促す活動に分類して記入すること。

地域	基	(1) 地域住民との交流を促進する活動	活動名	実施回数	主催	参加人数						連携団体	成果と課題		
						乳幼児	小1～3年		小4～6年		中学生			大人	合計
							自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ					
		カフェ“ふらっと紫竹”		11	紫竹自治連合会福祉委員会	10					486 うち 133名 ボラ	496	紫竹学区地域諸団体	児童館遊戯室をカフェにし、地域の乳幼児親子から高齢者まで3世代交流の場としての役割を担った。	
		子育ておしゃべりクラブ パンブー		3	紫竹民生児童委員協議会、紫竹社会福祉協議会、紫竹児童館	14					36 うち23 名ボラ	50		子育て家庭同士や民生児童委員さんとのつながりが深まった。	
		紫竹まつり		1	紫竹まつり実行委員会	45	79		31		2	55	212		児童館はステージ発表とあそびのブースを担当した。参加された地域の方々に児童館のPRになった。
		つくってあそぼう！		1	紫竹児童館 紫竹民生児童委員協議会									新型コロナウイルス感染拡大防止の為中止	
		しちくじどうかんこどもまつり 小学生以上の部		1	紫竹児童館			21	19			2	2	44	コロナ対策で、例年の形を変え、実施する。密をさける為、3部で行う。参加者は楽しんでたよう。
		しちくじどうかんこどもまつり 乳幼児の部		1			15							14	29
		紫竹ルネサンス		1	紫竹自治連合会	15	47		17		1	28	108		児童館はあそびのブースを担当した。参加された地域の方々に児童館のPRになった。
		子育て研修会		1	紫竹児童館							7	7	北区役所	地域における連携のあり方について座談会を行う。
		紫竹学区避難訓練		1	紫竹自治連合会										紫竹学区の避難訓練に参加し、災害時の地域との協力体制を構築していく。
		フナオカスタンダード2022		1	フナオカスタンダード2022実行委員会										今回は参加を見合わせた。
		春季ふれあい交流会		0											新型コロナウイルス感染拡大防止の為中止
		紫竹キッズキャンパス		1	紫竹少年補導		10	15	3			15	43		ゲームに参加する。
		合計		23	—	99	157	34	53	2	3	119	989		
地域	福	(2) ボランティア活動の推進	活動内容		活動人数				成果と課題						
					中学生	大学生	大人	合計							
			ボランティアの受け入れ						167	167	乳児クラブ、小学生クラブ、めだかボランティア、あそびのボランティアなど、様々な行事活動への協力があり、行事の幅が広がっていた。				
			ソーイングサークル「ちくちく」								令和3年度末でメンバーが退会、新メンバーを募集したが加入はなかった。				
			ボランティア組織との連携						18	18	ボランティアサークルさくらんぼさんに声をかけていただき、子どもたちにお話とコーラスを披露していただく行事を行った。子どもたちは文化的な体験をすることができた。				
				合計	0	0	185	185							
地域	基	連携団体等		連携内容				成果と課題							
		紫竹児童館運営協力会	児童館の活動にさまざまな形で後援をいただく。地域ぐるみで子育て支援に取り組むことを目的に活動。しちくじどうかんこどもまつりの後援。				しちくじどうかんこどもまつりでは、当日のスタッフとしても協力していただく。今後も協力体制を維持し、さらなる積極的な連携を図りたい。								

機 動 能	(3) 地域との連携を促進する活動	紫竹自治連合会	地域行事や学区清掃、避難訓練等への参加を通して、地域住民との交流、連携を深める。また町内回覧を通して児童館の活動のPRも行う。	地域住民に児童館の理解を促す。また、地域行事に参加することで地域を知ったうえでの児童館運営が図れた。
		紫竹自治連合会福祉委員会	地域の福祉的課題について連携を深める。カフェ“ふらっと紫竹”、公園体操“いきいき紫竹”の開催、じどうかんまつりへの協力等。	地域の福祉的課題について情報共有を図る。地域住民とつながりがさらに深まり、児童館が地域に身近なものになった。
		紫竹民生児童委員協議会	子育てサロン（子育ておしゃべりクラブ『バンブー』）を児童館で開催。地域子育てステーション事業「つくってあそぼう！」への参加協力・高齢者支援などの連携を行う。	子育てサロンは、職員も運営に協力し、児童館のPRも行う。「つくってあそぼう！」はコロナ感染拡大防止の為、実施することができなかった。
		紫竹社会福祉協議会	春季ふれあい交流会を共催、児童館で開催する。	実施なし。
		元町学区民生児童委員協議会	毎月のじどうかんだより・学童クラブだよりを届ける。	元町学区の乳幼児親子、小学生の利用もあるので、連携を深めていきたい。
		紫竹小学校	じどうかんだより・学童クラブだよりを届ける。児童に関する懇談、情報	児童に関する情報交換や連携を行うことができた。
		大宮小学校・元町小学校	じどうかんだより・学童クラブだよりを届ける。児童に関する懇談。	児童に関する情報交換や連携を行うことができた。
		加茂川中学校	毎月のじどうかんだよりを届ける。	中学生の利用促進に向けて、連携を深めていきたい。
		京都教育大附属京都小中学校	毎月のじどうかんだよりを届ける。	学童クラブ児童を受け入れているため、学校との連携を図っていきたい。
		紫竹小学校放課後学び教室 ほっとマナ	放課後学び教室と児童館との連携について話し合う。 毎月のじどうかんだよりの配布、ほっとマナのポスター掲示、ビラ配布。	連携のあり方について話し合うことができた。 連携を深めていきたい。
		北警察署	幼児向けのセーフティクラブ実施にあたり、交通安全啓発ビラの使用。小学生向けに交通安全教室、防犯教室の講師もしていただく。	警察官やスクールサポーターの方に来ていただき、教室を行うことができた。乳幼児親子に対しても交通安全の啓発ができた。
		北区役所保健福祉センター 子どもはぐくみ室	おたより交換、情報交換。	気になる乳幼児親子などの情報交換や支援をする。また、支援の必要な学童クラブの家庭についても定期的に情報交換を行う。
		北区児童館学童保育所連絡協議会	数回の職員研修を開催。北区地域福祉推進委員会に出席。	近隣施設の職員と交流ができ、事業の開催など資質向上にもなる。さらにつながりを深めていきたい。
		紫野保育園	「公園であそぼう！」の共催。学童クラブ児童についての情報交換。じどうかんだよりの配布。	共催の行事をすることができた。また、学童クラブ入会する児童についての情報交換を行った。ステーションとしての連携を深めていきたい。
		洛北幼児園	じどうかんだよりの配布。	じどうかんだよりを配布することにより、児童館のPRに繋がった。
		待風保育園	学童入会児童についての情報交換。	学童クラブ入会する児童についての情報交換を行った。
		上賀茂こども園	学童入会児童についての情報交換。	学童クラブ入会する児童についての情報交換を行った。

(令和4(2022)) 年度 児 童 館 事 業 年 間 活 動 報 告 書 (紫 竹) 児 童 館

地 域 福 祉 促 進 機 能	基本 活 動	(4) 児童館を支える地域 組織作り	組織名称	構成団体・個人	会議/取組頻度	議題/取組内容	成果と課題
			北区児童館学童保育所連絡協議会	北区児童館、学童保育所など	1回(総会)	会議、研修など	総会は書面開催になった。
			紫竹児童館運営協力会	紫竹学区地域諸団体	2回	年間行事運営のための総会	昨年度の活動報告と連携について、今年度の地域との連携について。今年度は書面開催とする。
			紫竹学区地域子育て支援ステーションネットワーク会議	紫野保育園	2回	地域の気になる子育て家庭について	地域子育てステーション事業について連携。
			子育て研修会	紫竹学区地域諸団体	1回	地域における連携のあり方について	地域の育児力向上につながった。
	推 進 機 能	(5) 地域への施設提供	会場提供・備品貸出等	使 用 目 的		提供先(団体・機関等)	成果と課題
			児童館育成室	子育てサロン子育ておしゃべりクラブ「バンブー」		紫竹学区民生児童委員協議会 紫竹社会福祉協議会	コロナで延期になった回もあったが、実施できた時は子育て家庭同士や地域との交流・つながりを深めることができた。
			児童館遊戯室・図書室	カフェ“ふらっと紫竹”		紫竹自治連合会福祉委員会	乳幼児親子から高齢者の方まで地域の3世代交流の場として活動できた。開催を楽しみにしておられる利用者も多く、子育て家庭だけではなく地域全体に児童館が根付く取組となった。
			児童館遊戯室	紫竹キッズキャンパス		紫竹少年補導委員会 紫竹自治連合会	児童館を利用してもらうことによって児童館を知ってもらうきっかけになった。児童館の利用児童も参加する。
			児童館遊戯室	認知症サポーター養成講座		紫竹学区民生児童委員協議会	児童館を利用してもらうことによって児童館を知ってもらうきっかけになった。けん玉クラブの発表も行う。
			児童館遊戯室	紫竹自治連合会福祉委員会		紫竹自治連合会福祉委員会	児童館も所属する福祉委員会の会議を行う。地域の福祉的課題を話し合うことができた。
(6) 地域調査活動	調査名	調査目的	調査対象	調査主体	調査方法	成果と課題	

(令和4(2022)) 年度

児童館事業年間活動報告書 (紫竹) 児童館

	広報物の種類	発行頻度	広報対象	広報方法	広報内容	成果と課題
広 報	児童館だより	毎月1回	児童、保護者、地域、学校	児童館にて配布、小学校にて配布、町内回覧、地域諸団体に配布、館内掲示板・館外掲示板に掲示、関係機関にて配布	各月の行事案内、前月の報告、その他お知らせなど。	学校配布、地域回覧により広報がいきたる。町内回覧やホームページを見ての来館もあった。
	広報	毎月1回	児童、保護者、地域	館内掲示板、館外掲示板に掲示	事業内容・各月のカレンダー	季節を取り入れた装飾を行い、目立つように工夫する。子どもたちに飾りを作ってもらった。館内の廊下、遊戯室には大型カレンダー等の掲示をする。乳幼児向けのお知らせ、小学生向けのお知らせをの掲示を分け、分かりやすい広報を目指した。
	ホームページ	随時	誰でも	Webページ上にて公開	児童館だより等の掲載 閉館・行事の中止等のお知らせ 新型コロナウイルス感染症拡大防止の啓発 児童館の場所・事業内容・各月の行事等の紹介	閲覧しての来館も増え、特に乳幼児の保護者の方はよく利用されてるようである。児童館事業の休止案内や児童館の臨時休館の際にも活用した。
活 動						